

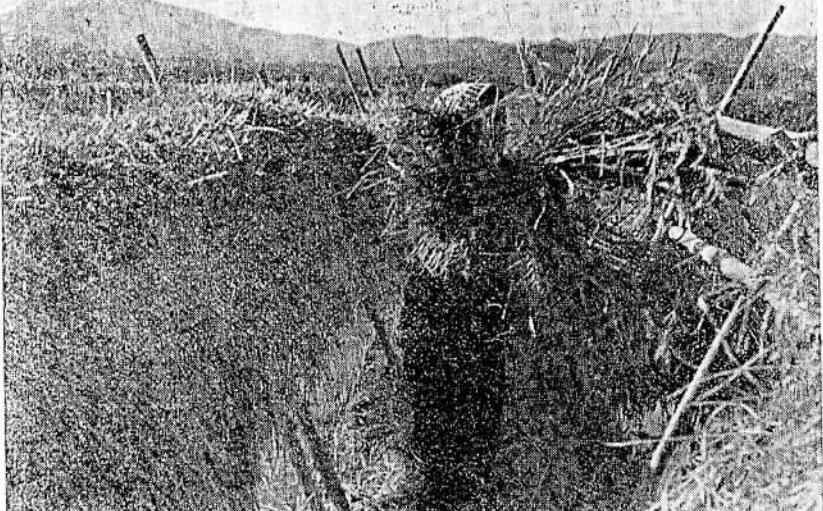
カラリと晴れた秋の日は、大掃除に絶好です。清潔法は、させられているのではありません。自分のために行うものなのです。一家そろつて、持場をきめて、順序よく家中のごみを拂いだしましょう。

# 市報 いおか

10月号  
第30号  
毎月1回  
30日発行

発行所 石岡市役所  
石岡市大字石岡408番地  
電話(代表)38番  
発行人 鬼沢賢造  
人口と世帯(9月30日現在)  
世帯数 7,260世帯  
人口 男17,482人  
女18,807人  
計 36,289人

## めりがえられた町村図



稔り

促進法三ヶ年間  
の成果により市  
町村の地図は大  
きく塗り替えら  
れ、本県におい  
ても当時の四市  
が十五市に、五  
十四町が四十一

九月三十日で町村合併促進法が期限切れと  
なり、十月一日からこれに代つて「新市町  
村建設促進法」が効力を発し、さらに半年  
間の追込みをかけることになつた。  
自覚しい町造りのかけには、新市町村の建  
設の問題とともに、当局が机上の計画によ  
つてのみ円満な解決の得られない分村問題  
が話題をなげかけている。

町に、三百八村が四十四村に  
八、一〇、一現在)が一〇〇  
都合市町村総数は三六六(二  
新しく登場した新市町村建設  
促進法は新市町村の建設の  
促進を期することは論を持た  
ないが、同時に町村合併に伴  
いも、秋の日は、背中  
を暖かく照らしている。  
見るごとに秋は日増しに  
深みゆくが、この忙しさ  
は、薄氷のはりつめる頃  
で続くだろう。

穀のものが地  
に落ちて稔り米  
を作る人の喜びが  
いま溢れている。頗る穀  
をたれ、秋の日は、背中



お互いに  
人権を守りましよう

## 五部落民が合併陳情

去る十五日隣村千代田村市川  
東野寺、西野寺、中郷谷、新  
治二子塚区民代表小貫忠氏等

三十余名は、当市役所を訪  
れる。すると三百四戸、九七〇余名か  
らなる分村合併陳情書を川並  
市との合併を熱望していたが  
市長のもとに提出された。

これによると千代田村が発足  
するに先立ち、同地区民は當  
市への合併を熱望していたが  
市長のもとに提出された。

川並市長は、歴史的沿革と住  
民永遠の福祉のためみやか  
にと、旧竹原村一部分村措置  
の陳情書を十五日附で県知事  
に提出した。

これは去る九月十七日大山嘉  
兵衛氏(旧竹原分村代表者)等より大手市会議長である分村  
請願書が提出されていました  
が、才三回定例会でこれを採  
択し川並市長に同請願書が送

れ機会を見て分村を認めると  
将来を公約されていましたとある  
分村合併の理由として  
①市川はその昔府中平村(当  
時の石岡)市川であり、中郷  
谷、新治は明治初年まで三村

の三割までが当地域にある  
恋瀬川流域に水田を有し、土  
地改良は不可分のうちにあ  
る。②鉄道による人の流動は石岡  
学生徒は当時の石岡小学校に通  
じていているなどをあげ

③大正六年まで小学校高等科  
の側溝改修工事は、昭和二十  
九年から継続施工しているが  
このほど本三十一年度分の工  
事が決定、近く着工すること  
になつた。

本年度は延長片側で五〇〇米  
工事費は五〇万円で県と市が  
半々に負担することになる。

これを実施すればあと二百米  
で全部が完成する。

高浜の市街地を貫通する県道  
の側溝改修工事は、昭和二十  
九年から継続施工しているが  
このほど本三十一年度分の工  
事が決定、近く着工すること  
になつた。

本年度は延長片側で五〇〇米  
工事費は五〇万円で県と市が  
半々に負担することになる。

これを実施すればあと二百米  
で全部が完成する。

車を発見できるから、運転

者もむやみにクラクション

を鳴らす必要なく安全な運

転ができるというわけ。

対面交通の利点は、歩行者

による影の

ものへの援

護、育成、更生のため有効に  
使われることになります。

愛の結晶で

あるこの尊

い淨財は近

く県共同募

金会へ送金

の手続がと

られ貧しい

ものであろう。

あつたから

だと同事務

所では感激

している。



昔から人と道路の関係は縁が深く、文化の進展には、常に道路のはてしない発達が求められています。商店街が、工場地帯が、住宅街が繁栄するに、も道路との縁は切れません。

そ  
れによると本年度下半期から開始する五ヶ年計画で、県内の自動車交通可能な道路を国、県道延長三、五〇〇キロ市町村道延長一、三〇〇キロに機械力を導入して、補修しようとするもので、砂利碎石等を年間二四五立方メートル散布し完全な砂利道とするもので市町村の全面的協力を要望している。

從来の馬車道路などにまで定期バスの路線が開通するなど路面の損傷は一方でなく県、市を一貫した道路整備が必要とされるに至つてゐる。國においては、ガソリン税收入を財源として道路整備五ヶ年計画が樹立されたが、地域的に偏差があるまだまだ道路は完全とはいえない。また本県は、大規模な県営砂利採取場を開設し、道路補修実施要綱を發表して

昭和二十九年に改正された道路法による  
道路は、一級国道、二級国道、県（都道  
と府）道、市（町村道）の四種類に分けら  
れており、市域内の道路の延長は国道五  
キロ、県道三八キロ、市道八八四キロと  
総延長九二七キロに及んでいる。

近年これら道路網に加重される自動車交通量は、日を  
追うて激増し、貨物車だけでもここ三ヶ年間で全国で五  
割、本県で六割、本市で四割という増加率を示しこれら  
は大型化、重量化されつつあり、六号国道の一日の交通  
量は二千台に達するといわれている。

本年度の道路橋梁費は百七十六万余円で、現在専用の大型トラック一台を購入し、道路の整備に最善の努力を払うとしているが、外部の協力も見せぬものがあり市と住民とが一帯となつてこそ本来の目的を遂行することができるものと思う。

り開始以来コンクリート測溝改良延長一三〇〇米、道路改良三、〇〇〇米を完工し、且下大橋、小井戸線一、七〇〇米の道路工事を実施中である。道の持つ路面々積は総面積千八百万坪の五%弱に相当し、巾延四メートル以上の道路は全体の一三割を占めている。道路の舗装は目下金丸町の一四五メートルを施行中であるが舗装延長は三、八八〇七メートルで、全体の〇・四%となつてゐる。

バーチャペル一台、タンブラー一二台の機械力が動員され本年度中に終了する予定のようである。

写眞は恋瀬橋地先の国道直轄工事(上)と市営失対事業による道路改良工事(左)

# 耳云 お国リの六へ

職が無くてお困りの方のため  
に声では特別の事業を行ひ。

遺児たちに喜んで  
九月二十九日、ここ靖国神社で  
深く父のみたま、とてに鎮まる  
杜頭に詣でた市内中学校三年生の遺児たちは五十二名で  
ありました。

この参拝遺児の多くが、まみ  
えぬ父の面影を忍んで涙き  
起るものは何であつたでしょ  
う。

母さんからもよろしくと云つてゐる姿。  
「生水を飲んだりしないでね  
お前だけが、たよりなのだとか  
ら……」と云つてゐる母の言葉。

車中で日の丸弁当を頬張る黒い髪の子。お弁当は母の感激によつて造られたものに違いありません。

遺児たちの書き綴つた生きかた  
言葉の中から社頭での対面の氣持のいくつかを御紹介し

たと思うと何か話をしたらよいか、じつとまぶたを閉じていたが、涙がひざに落ちました。今まで一日だって忘れず、待っていた父と、すぐお別れかと思うと悲しくなりました。

國香	若中	町名	◇出
丸	松周	下辰	父の名續柄
分和	八千代	雄長男	出生兒名
和男	二女	藤田紀巳	
長女	三女	高田美佐子	
浜	長女	前野則則	
千栄	三男	箕輪輪	
公	長女	京子光枝	
柳	青柳	広戸	

「さつま」が図書に  
図書に親しむ頃とともに  
で三村中学校では、こ  
図書の整備のため部落  
「さつまいも」一俵あ  
出し、約十万円の資金  
り図書の購入費に充て  
の話がきまつた。さつ  
書に早がわりするのも  
では、できない話。

つたの  
ほどの  
全戸が  
てを據  
をつく  
ようと  
まが図  
秋なら  
式は三  
地で行  
れ式な  
岡興民  
的な工  
なつた

## 耳より音説

市では、このほど市政のこと及び市の広報である市報いおかのことについて簡単なせ論調査を行うことになりました。

東京商三会祭月に開催され、その協賛事業の一環として首都團塊連合の五百周年祭に際し、善産業PRカーバレードを開催、宣伝車二十七輶を組成し、十月二日当市を親善訪問、安井都知事から、文化の中心となりましたと川並市長あてメッセージが送られた。

<p>民謡おどり講習会</p> <p>十五日 午後七時 日本民謡</p> <p>廿五日 午后フ オーク</p> <p>ダンス</p>
<p>場所 石岡市公民館</p>
<p>一般初心者、男女歓迎、</p>
<p>会社工場のレクリエーション係の参加を希望</p>

東中	高染宮	基半根行茨守	金大	泉國香	中宮	◇出
田津	カクル	石ノ里	小	大	下辰	父の名綴相
中川	浜谷部	沢木當川城横	九路	町分丸	松町	助之
一亨勝	清昇芳榮正昭常敬勝誠友由繁清久徹章徳竹和直榮芳	之助	千代	八周	長男	慶
次	榮夫郎	郎二文次雄一	司夫夫郎夫	藏次男助	雄	と弔
二長	長三	長五	長三	長長	長長	長男
女男女	男女男女男女男女男女男女男女男女男女男女男女男女男女	男女男女男女男女男女男女男女男女男女男女男女男女男女男女	男女男女男女男女男女男女男女男女男女男女男女男女男女	男女男女男女男女男女男女男女男女男女男女男女男女男女	男女男女男女男女男女男女男女男女男女男女男女男女男女	出生兒名
田高深吉	井木吉金	小岡岡酒内高石谷桜井	中根本足上立	川浜前野	青柳笠輪	出生兒名
島野町	島野町田坂内崎子	松野野井は	村田立	田根本立	戸戸根	出生兒名
すみ紀雅	幸智利廣晶輝雅	な克幸勵	恭子進	千弘子	子則子	出生兒名
み子宏子	子江文子	子稔子彦子	佐子進	京子	光枝	出生兒名
石小	東染半根半正兵	金國若宮	石川俊	石川俊	三村仁	東大橋築
タ	井大谷ノ木	ノ内崎	下	嘉江	傳亮	有明
川戸	橋木原	丸分松	平長男	長男	長七男	次長男
狩柴	長立藤中川駒内額濱小柿古齋石村清比加	死亡	榮三郎	斎藤	二男	石崎
谷川	枝沢又場田狩松原山藤塚岡	死者	江長男	谷口	鈴木	次男
わ啓辰	よみ秀藤さな	は五太春五	留次	二男	文江	正美
さ次郎	しひ雄作よ	は子春郎吉郎	宗治一	木全	英二	正恵
七六	八九二	六六七六	五六	二〇	玲子	千恵子
六六	二四四九〇	〇五三	六五	五五	三夫	正義
二二	八八	二四四九〇	六一	六八	英二	正義
一			二三	五五	玲子	千恵子
			二	七二	三夫	正義
			一	二〇	英二	正義
				五	玲子	千恵子